

## 広域観光・文化振興の取組

### ■「関西観光・文化振興計画」に沿った施策の展開

平成24年3月、関西から日本の元気を取り戻し、観光から日本の元気を取り戻すという高い目標を掲げて「関西観光・文化振興計画」を策定。27年3月には、外国人観光客の大幅な増加や、ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック、関西ワールドマスタースターズゲームズ2021の開催など、国際観光を取り巻く社会情勢の変化を踏まえ、次のステージに向かうべく計画を改定(28年8月目標数値など一部見直し)。この計画に基づき、関西で観光・文化振興に取り組む自治体や関係機関、経済団体等と連携し、関西が一体となった戦略的な取組を進めています。

なお、事業推進計画が今年度で満了することから、現在、有識者等で構成する検討委員会を設置し、計画を見直ししています。

#### 現行計画に掲げた将来目標等

- ・日本の現状 来日外国人客数は世界第22位。観光立国の実現に向けて誘客を推進
- ・将来目標 関西の将来像を「アジアの文化観光首都」とする
- ・数値目標 関西を訪問する外国人客数1,800万人(2020年)を目指す、など

#### <7つの戦略>

##### 1. 「KANSAI」を世界に売り込む

広域観光周遊ルート の提案、「KANSAI 国際観光 YEAR」の展開 など

##### 2. 新しいインバウンド市場への対応

観光需要の創出、新しい市場への対応 など

##### 3. 的確なマーケティング戦略による誘客

国・地域別のマーケティングに基づく誘客、KANSAI WEB戦略 など

##### 4. 安心して楽しめるインフラ整備の充実

関西国際空港の魅力向上、おもてなし・利便性の向上 など

##### 5. 関西の文化の魅力発信

関西文化の認知度・イメージ向上、連携交流による関西文化の一層の向上  
など

##### 6. 関西文化の継承とプラットフォームづくり

関西文化の次世代継承と人材育成、情報発信・連携交流支援・人づくりを支える環境(プラットフォーム)づくり など

##### 7. 東京オリンピック・パラリンピック等に向けて

国とも連携した関西文化プログラムの実施、戦略的誘客 など

## ○文化振興指針「文化首都・関西」ビジョン

文化振興の取組を強化し、関西文化の魅力を外に発信するため、「文化首都・関西」の実現と併せ、標榜する「アジアの文化観光首都」としての発展を目指すという理念のもと、関西における豊かな文化創造を育む基盤づくりが最も必要であるとの視点に立ち、25年度に文化振興指針を策定しました。「関西観光・文化振興計画」は、この指針の内容も反映させています。

## ○平成29年度予算

戦略の具体化を図るため、広域観光・文化振興分野として当初予算 98,286 千円を計上しています。

### 平成29年度分野予算

・KANSAI ブランドの構築 (49,824千円)	美の伝説ルート誘客促進事業 海外プロモーションの実施 など
・基盤整備の推進(33,452千円)	通訳案内士の人材育成 など
・関西文化の魅力発信事業 (14,600千円)	東京オリンピック・パラリンピック等の開催 に向けた関西文化の発信強化 など
・総務費(410千円)	

## ■取組状況

### ○KANSAI ブランドの構築

世界の観光マーケットにおいては、関西(KANSAI)の知名度はまだまだ低い状況にありますが、外国人観光客誘客に向けて、将来的にはブランドとしての優位性を確保する必要があります。このため、個々のイメージではなく、「関西」という一つのブランドで積極的に海外に向けて発信する取組を展開します。

#### (1) 広域観光周遊ルート「美の伝説」

関係機関や経済団体等と連携して、日本の伝統美や自然美、精神文化、生活文化の美意識にふれる広域観光周遊ルート「美の伝説」が27年6月に国土交通大臣から認定を受けました。現在、国の支援を受けながら、関西全体に集客効果を波及させる取組を展開しています。

#### (2) 「KANSAI 国際観光 YEAR」

国際観光圏「KANSAI」のブランドを世界に売り込むため、世界に誇る関西の魅力や強みを毎年1つのテーマに絞って発信する「KANSAI 国際観光 YEAR」を実施。2017年は「関西の食を楽しむ観光」をテーマに、官民が一体となりPR活動を行っています。

<参考> 2013年「関西の食文化」、2014年「関西のマンガ・アニメ等」、  
2015年「関西の世界遺産等」、2016年「関西のスポーツ観光」

2017年のテーマ「関西の食を楽しむ観光」については、4月28日(金)～5月7日(日)にインテックス大阪で開催された「2017食博覧会・大阪」に出展し、関西でできる食の体験等に関する資料の配布、映像の放映を行うとともに、海外からの来場者に対して、総合インフォメーションにおいて関西の観光パンフレット資料及びPR用ポケットティッシュを配布しました。

また、11月には兵庫県・淡路島で開催される「御食国・和食の祭典 in 淡路島」に出展し、関西の食のPRを予定しています。

「関西観光WEB」でも関西の食文化やマンガ・アニメ、世界遺産、スポーツ観光等の関連情報を広く発信しています。



「2017食博覧会・大阪」への出展

### (3) 海外プロモーションの実施

「関西」をさらに魅力ある観光圏としてアピールするため、関係団体との連携のもと海外へのプロモーションをこれまで11回実施し、歴史や文化など関西の多様な魅力を紹介し、KANSAIブランドを発信しています。29年4月には、国別の訪日旅行者が第7位で(2016年)、1人当たりの旅行支出が国別で最大(2016年)のオーストラリアにおいて、「関西」の認知度向上・誘客促進を目指し、今年度新たに発足した一般財団法人関西観光本部をはじめ関西経済界等と連携して実施しました。



このプロモーションにおいて、カンタス航空に対し、オーストラリアと関西の間の直行便の就航について要請を行ったところ、平成29年冬便からのシドニー・関空間で直行便就航につながりました。

#### ○ オーストラリア トッププロモーション

日時 平成28年4月16日(日)～4月20日(木)

(4月20日(木)～22日(土) ワールドマスターズゲームズ オークランド大会訪問団として行動)

内容

- ・クイーンズランド州視察
- ・クイーンズランド州政府首相 訪問会談

- ・クイーンズランド日本商工会議所との意見交換会
- ・オーストラリア政府観光局との会談
- ・カンタス航空との会談
- ・交流レセプション(観光プロモーション) 等



(プロモーション実績)

関西広域連合トッププロモーションの実績（平成23年度～平成29年度）				
年度	訪問先	日程	参加者	主な内容
23	中国	2011/ 07/20～23	井戸連合長、山田委員、嘉田知事、平井知事、森関経連会長ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、フォーラム、観光セミナー
	韓国	2011/ 09/18～20	山田委員、平井知事、森関経連会長ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、観光セミナー
24	韓国	2012/ 8/1	山田委員、秋山連合協議会会長ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、観光セミナー
	中国	2012/ 09/11～13	井戸連合長、山田委員、嘉田知事、森関経連会長ほか	観光セミナー、レセプション
	シンガポール	2013/ 02/17～19	山田委員、秋山連合協議会会長ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、観光セミナー、レセプション
	マレーシア			
25	中国	2013/ 09/13～16	井戸連合長、山田委員、嘉田知事、森関経連会長ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、観光展、観光セミナー、レセプション
	香港			
	タイ	2014/ 02/20～21	事務局	旅行博でのPR、政府機関・旅行事業者訪問
26	タイ	2014/ 11/19～21	井戸連合長、山田委員、福島関空会社会長ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、レセプション、観光セミナー・観光展・物産展
	マレーシア			
27	フィリピン マレーシア	2015/ 09/18～21	山田委員、福島関空会社会長ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、レセプション、観光セミナー・観光展
	ベトナム	2015/ 11/27～29	井戸連合長、秋山連合協議会会長ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、レセプション、テレビ局訪問、観光ブース
28	台湾	2016/ 8/30～9/2	山田委員、滋賀・大阪・奈良・鳥取・徳島の各副知事、田中関西エアポート執行役員ほか	政府関係者・旅行関係団体等との会談、レセプション、観光セミナー・観光展
	香港			
29	オーストラリア ニュージーランド	2017/ 4/16～4/23	山田委員、滋賀・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・徳島の各知事(副知事)、山谷関西エアポート代表取締役社長ほか	政府関係者・商工団体、航空会社等との会談、レセプション、ワールドマスターズゲームズ・オークランド大会開会式出席



#### (4) ジオパーク活動の推進

関西広域観光の幅を広げ、外国人観光客の関西圏内の周遊を促進するため、関西にある優れた地質景観スポットを提案・PRしています。

平成28年12月には、外国人旅行者向けフリーペーパーで、山陰海岸ジオパークなど関西の優れた地質景観スポットを「地質の道」として掲載しました。

近年は、カヌーやトレッキングといった体験型のアクティビティを紹介するなど、外国人観光客の欲求に応える内容を掲載しています。

※平成26年8月28日には南紀熊野ジオパークが日本ジオパークに認定され、同年9月23日には山陰海岸ジオパークが平成30年までの4年間、再び世界ジオパークとして認定されました。



「地質の道」紙面  
(平成28年12月)

#### (5) 関西観光本部の取組

関西の外国人観光客誘致の推進母体として、関西広域連合を含む官民が一体となり「関西観光本部」が平成29年4月に設立されました。関西をアピールする活動や、参画団体の個性を活かした関西ならではの連携事業等に関西広域連合も参画し、取り組んでいます。

○関西観光本部の主な活動

- ・アジア、北米、欧州等での旅行博等観光プロモーションの実施
- ・KANSAI Free Wi-Fi (official)、KANSAI ONE PASS の推進
- ・多言語コールセンターの設置や自身が話せる言語を示す「おもてなしバッジ」の作成・配布
- ・宅配便を活用した手ぶら観光の普及
- ・広域観光周遊ルート「美の伝説」のPRや着地型観光等の新たな観光素材の発掘による魅力向上

#### (6) 関西観光 web 等による情報発信

関西観光WEBやSNSなどを通じ、関西の魅力ある情報を効果的に発信しています。関西観光webでは多言語化を進めるとともに、スマートフォン対応の改修を実施し、より広く情報発信を行っています。

#### ○基盤整備の推進

##### (1) KANSAI Free Wi-Fi (Official) の推進

外国人観光客の Wi-Fi 利用の利便性を高めるため、関西エリアにおいて、一度認証手続きを行えば、以降の関西各地の自治体等無料 Wi-Fi の利用手続きが不要になる共通認証アプリケーション「KANSAI Free Wi-Fi(Official)」を開発し、管理運用を行っています。

## (2) 地域の魅力を活かす関西周遊環境整備事業

国の地方創生推進交付金事業等を活用し、通訳案内士の活躍の場の拡大と就業率の向上を図るとともに、通訳案内士を通じた文化体験活動の紹介など着地型観光の推進により、地域の活性化を図るため、通訳案内士への研修事業やマッチング事業を行うこととしております。

## ○その他の取り組み

### (1) KANSAI 統合型リゾート研究会

特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律の制定を受け、関西の観光及び地域振興に寄与するものとなるよう国や関西観光・文化振興計画検討委員会に必要な提言等を行うため、KANSAI 統合型リゾート研究会を再開しました。

平成 29 年 8 月に研究会の中間報告を受け、国に提言を行いました。今後、研究会では、関西観光・文化振興計画に反映すべき内容について議論をいただくこととしています。

## ○文化振興の取り組み

### (1) 関西「文化の道」事業の推進

関西が有する文化芸術資源をテーマでつなぐ「文化の道」事業を展開。関西で発祥し全国に広がった関西共通の文化である「人形浄瑠璃」や、地域文化の結晶である関西の「祭り」にスポットをあてた取組を推進しています。

平成 29 年度は、昨年を引き続き、能楽、人形浄瑠璃、歌舞伎など関西の古典楽劇ゆかりの地を結ぶ「ものがたり街道」の冊子作成等により、情報発信を行っています。

### (2) 関西元気文化圏の取り組み

関西 2 府 8 県の美術館・博物館・資料館等の文化施設等の協力を得て常設展等を無料とする「関西文化の日」を実施しています。また、11 月を「関西文化月間」と位置づけ、芸術文化情報サイト「関西文化.com」において幅広く情報を発信しています。

平成 29 年度は 11 月 18 日（土）・19 日（日）を中心に関西文化の日を実施し、過去最高の約 690 施設の参加のもと、関西が誇る長い歴史に培われた豊かな文化資源に気軽に接する機会を提供します。



### (3) 世界文化遺産等発信事業の推進

関西広域連合エリアは、古墳時代から戦国・江戸時代まで国内



でも有数の世界文化遺産集積地になっており、観光分野・関係団体とも連携し、フォーラムの開催やリーフレットの作成など、広く無形文化遺産や世界の記憶、ジオパーク、世界遺産暫定リスト登録遺産等も含めて一体的に情報発信を行い、関西としての気運を盛り上げています。

#### (4) 東京オリンピック・パラリンピック等の開催に向けた関西文化の魅力発信

「はなやか関西・文化戦略会議」を設置し、2020年東京オリンピック・パラリンピックやワールドマスターズゲームズ2021関西などに向けた取組を検討しています。

平成27年度からは、関西文化のハーモナイズアップにつなげる「アーティスト・イン・レジデンス」をテーマにした国際シンポジウムなどを開催しています。加えて、平成29年度は、文化戦略会議の提言を受け、関西圏域外での関西文化のアピールにも取り組みます。

